

当院における熊外傷症例の検討

1. 研究の対象

2017年1月1日から2022年12月31日までに岩手医科大学附属病院形成外科で治療を受けた熊外傷患者

2. 研究期間

研究期間：研究実施許可日～2025年3月31日

3. 研究目的・方法

熊に襲われて生じる外傷（熊外傷）ではほとんどの場合、顔面が受傷部位に含まれます。顔面の損傷は複雑で、その治療には感染制御のみならず、整容的な配慮が必要です。また損傷程度によっては、隣接する皮膚を創部に移動すること（局所皮弁）や体の離れた部位から血管を繋ぎ合わせて皮膚を移植すること（遊離皮弁）が必要になります。この研究の目的は熊外傷における顔面損傷の状況を調査し、治療の問題点について検討することです。

4. 研究に用いる情報

情報：年齢、性別、受傷部位、骨折、軟部組織損傷、重要臓器損傷、入院期間、手術回数、創部感染

本研究で取得した上記の情報は、研究終了日から5年／結果公表日から3年（いずれか遅い日）まで保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。

5. 研究費および利益相反

本研究は、岩手医科大学形成外科学講座の講座研究費により実施されます。研究者は本研究に関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

曾根 至
岩手医科大学 形成外科 任期付き助教
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通り 2-1-1
TEL：019-613-7111（内線 6571）

研究責任者：櫻庭 実
岩手医科大学 形成外科 教授
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通り 2-1-1
TEL：019-613-7111（内線 6571）